

青少年専門員だより

第86号

令和8年10月1日



令和8年度「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動 — 置賜地区「いじめ防止」標語 審査結果 —

〈最優秀〉

- ◎ 区別なく やさしい君は 魔法つかい

飯豊町立飯豊中学校 3年 舟山 叶都 さん

〈優秀〉

- イイネ!!より 声でよりそう だいじょうぶ!!

長井市立西根小学校 6年 飯澤 翔馬 さん

- 「それいいね!」 みんなあるんだ いいところ

川西町立吉島小学校 5年 小形 佳愛 さん

〈入選〉

- ・ いぐないね じこちゅうしんは めんごぐない

米沢市立南成中学校 3年 長谷川 葵佳 さん

- ・ 「いやなこと」 きになるころは みんなちがう

南陽市立漆山小学校 2年 小川 颯翔 さん

- ・ その違和感。誰かを助ける 鍵となる

高島町立高島中学校 2年 木村 美心 さん

- ・ 見てる人 今日からはじめる 止める人

小国町立小国中学校 3年 舟山 実里 さん

- ・ ありがとう 君からもらった 救いの手

白鷹町立白鷹中学校 2年 佐藤 蓮 さん

置賜地区青少年育成連絡協議会では、今年度も「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動の一環として、「いじめ防止」標語を募集いたしました。

その結果、小・中学校及び特別支援学校 60校から 12,062点もの応募がありました。各市町における審査を経て推薦された作品について、置賜地区審査会において厳正に審査を行った結果、選考結果は左記のとおりとなりました。最優秀賞に選ばれた舟山叶都さん(飯豊町立飯豊中学校)は、10月25日に南陽市のシェルターなんようホールで開催される「山形県青少年健全育成県民大会(60周年記念大会)」において表彰される予定です。

本事業の実施に当たり、ご理解とご協力を賜りました各学校、ご家庭並びに関係各位に心より感謝申し上げます。応募された作品には、いじめを許さず、思いやりの心を大切にしようとする児童・生徒の皆さんの思いが込められていました。これらの言葉が、互いを尊重し支え合う社会づくりにつながる励ましのメッセージとして、多くの人々の心に届くことを願っております。

毎月第3日曜日は「家庭の日」

10月

「家族で健康づくりをはじめる」

・家族一緒にスポーツやレクリエーションを楽しみましょう。



11月

「働くことの大切さを学ぶ」

・家族の仕事について家庭で語り合しましょう。



上段：月別推進テーマ / 下段：行動実践事例

家族そろって笑顔で過ごす時間をつくりましょう



AI時代だからこそ 大切にしたいこと



生成AIは、学びや生活を支える便利な道具です。
一方で、AIが示す情報が常に正しいとは限りません。
これからの時代には、情報の真偽を見極める力と、
人を思いやる心の両方が求められます。

1 情報を見極める力を大切に

AIの情報をうのみにせず、
「本当にそうだろうか」と
立ち止まって考え、複数の
情報を比べて、真偽を
見極める力を育てましょう。



2 人の気持ちを理解し、思いやりの心を育てよう

AIにはできない、人の気持ちを
理解し、寄り添うことは人間に
しかできません。
相手の立場に立って考え、
思いやりのある言葉や行動を
大切にしましょう。



3 AIを上手に使いこなし、人として成長しよう

AIを活用して学びを深めながら、
主体性を持って考え、行動する力を
育てましょう。
技術を賢く使いこなし、
自分らしい未来を切り拓く
身につけていきましょう。



学校・家庭・地域が 力を合わせて



子どもたちが新しい技術と上手に向き合い、
人としての温かさや主体性を失うことなく、
未来をたくましく切り拓いていけるよう、
支えていきましょう。



技術を賢く使いこなし、
人としての温かさを忘れずに、未来へ！



ひとひらの詩

〈十月〉

道

迷いながら刻んだ足跡は
決して消えることはない

もがきながら過ごしてきた

時間のすべてが

自分を育て

形づくる

歩んできたどの道も

今の自分へと続いている